

米軍基地環境カルテ

南部弾薬庫（施設番号：FAC6075）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

73. 南部弾薬庫（施設番号：FAC6075）	73-1
73.1 基本情報	73-1
73.1.1 名称	73-1
73.1.2 所在地、広さ（施設面積）	73-1
73.1.3 施設の概要等	73-1
73.1.4 施設の管理及び用途	73-1
73.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	73-1
73.1.6 土地利用規制図	73-2
73.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	73-2
73.2.1 基地等の土地の状況	73-2
73.2.1.1 地形分類図	73-2
73.2.1.2 表層地質図	73-2
73.2.1.3 土壌図	73-2
73.2.1.4 切盛土分布図	73-2
73.2.2 基地内の施設の使用状況	73-2
73.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	73-2
73.2.2.2 施設等使用履歴	73-2
73.3 基地等の環境状況	73-3
73.3.1 自然環境（植物）	73-3
73.3.1.1 現存植生図	73-3
73.3.1.2 植生自然度図	73-3
73.3.1.3 特定植物群落	73-3
73.3.1.4 重要な種、貴重な種等	73-3
73.3.2 自然環境（動物）	73-3
73.3.2.1 重要な種、貴重な種等	73-3
73.3.3 水利用状況	73-4
73.3.3.1 水利用状況	73-4
73.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	73-5
73.3.3.3 河川及びダムの分布状況	73-6
73.3.4 地下水の状況	73-6
73.3.4.1 地下水基盤面等高線図	73-6
73.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	73-6
73.4.1 事故等の概要	73-6
73.4.2 事故等発生場所	73-7
73.5 環境調査を実施する場合の留意事項	73-7
73.6 その他情報	73-7

73.7 環境等に関する通常監視について	73-7
----------------------------	------

73. 南部弾薬庫（施設番号：FAC6075）

73.1 基本情報

73.1.1 名称

南部弾薬庫（施設番号：FAC6075）

73.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：糸満市、具志頭村

広 さ：約 1,263 千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

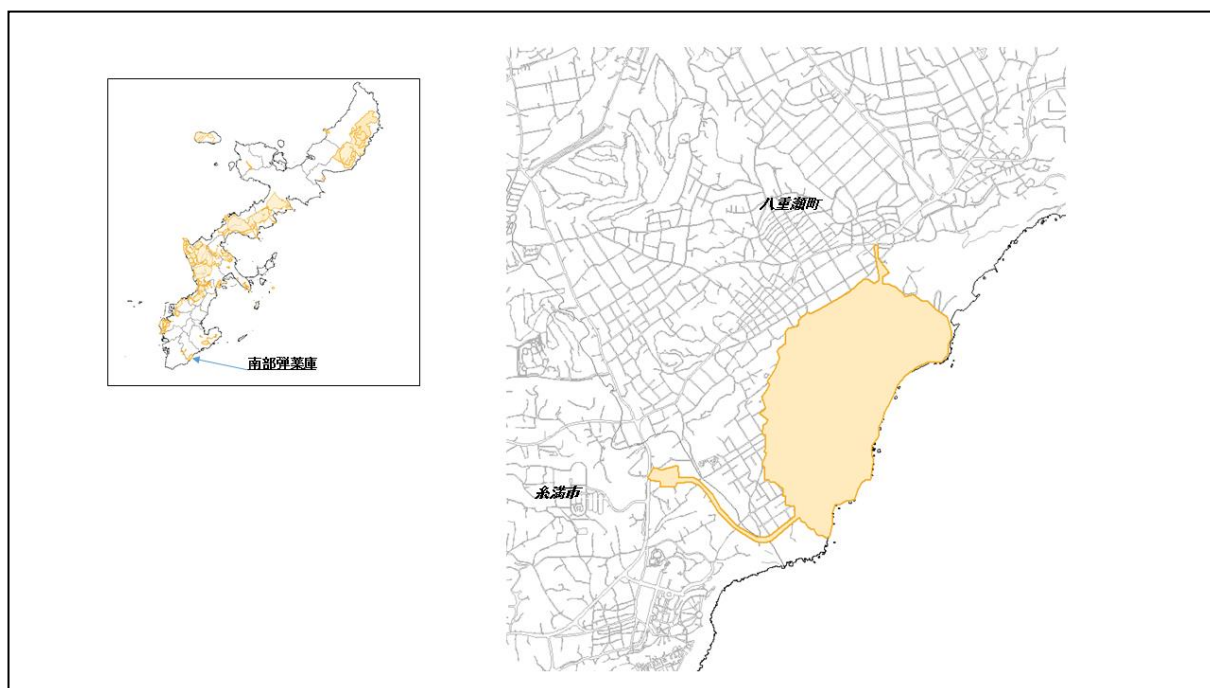


図 73-1 南部弾薬庫の位置図（昭和 47 年時）

73.1.3 施設の概要等

昭和 52 年 3 月 31 日、全部返還。

73.1.4 施設の管理及び用途

昭和 52 年 3 月 31 日、全部返還。

73.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は土地改良事業が実施され、葉野菜等の近郊型農業として利用されているほか、ゴルフ場としても利用されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

73. 1. 6 土地利用規制図

南部弾薬庫跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図C」に示す。

73. 2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

73. 2. 1 基地等の土地の状況

73. 2. 1. 1 地形分類図

南部弾薬庫跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図C」に示す。

73. 2. 1. 2 表層地質図

南部弾薬庫跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図C」に示す。

73. 2. 1. 3 土壌図

南部弾薬庫跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図C」に示す。

73. 2. 1. 4 切盛土分布図

南部弾薬庫跡地の切盛土分布図は作成されていない。

73. 2. 2 基地内の施設の使用状況

73. 2. 2. 1 施設配置図（埋設物含む）

南部弾薬庫の施設配置図は確認できなかった。

73. 2. 2. 2 施設等使用履歴

昭和 33 年 2 月	米陸軍において使用開始される。
昭和 45 年頃	ナイキの撤去に伴い、陸軍及び海軍の通常弾薬庫として使用される。
昭和 47 年 5 月 15 日	「南部弾薬庫」として提供開始（使用主目的：弾薬庫）。
昭和 48 年 12 月頃	陸軍の引き揚げにより、海軍の専用弾薬庫として使用される。
昭和 52 年 3 月 31 日	全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
「沖縄の米軍基地」（平成 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）、
「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：覆土式弾薬庫（7カ所）、一般弾薬庫（2カ所）、倉庫（3カ所）、警備所（4カ所）、浄水場、ポンプ場、貯水タンク（1個）

工作物：街燈、配電線、保安柵、アスファルト舗装道路（L 3,664m、W 5m）、下水道、駐車場、等

出典：「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）を参照

73.3 基地等の環境状況

73.3.1 自然環境（植物）

73.3.1.1 現存植生図

南部弾薬庫跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図C」に示す。

73.3.1.2 植生自然度図

南部弾薬庫跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図C」に示す。

73.3.1.3 特定植物群落

南部弾薬庫跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

73.3.1.4 重要な種、貴重な種等

南部弾薬庫跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

73.3.2 自然環境（動物）

73.3.2.1 重要な種、貴重な種等

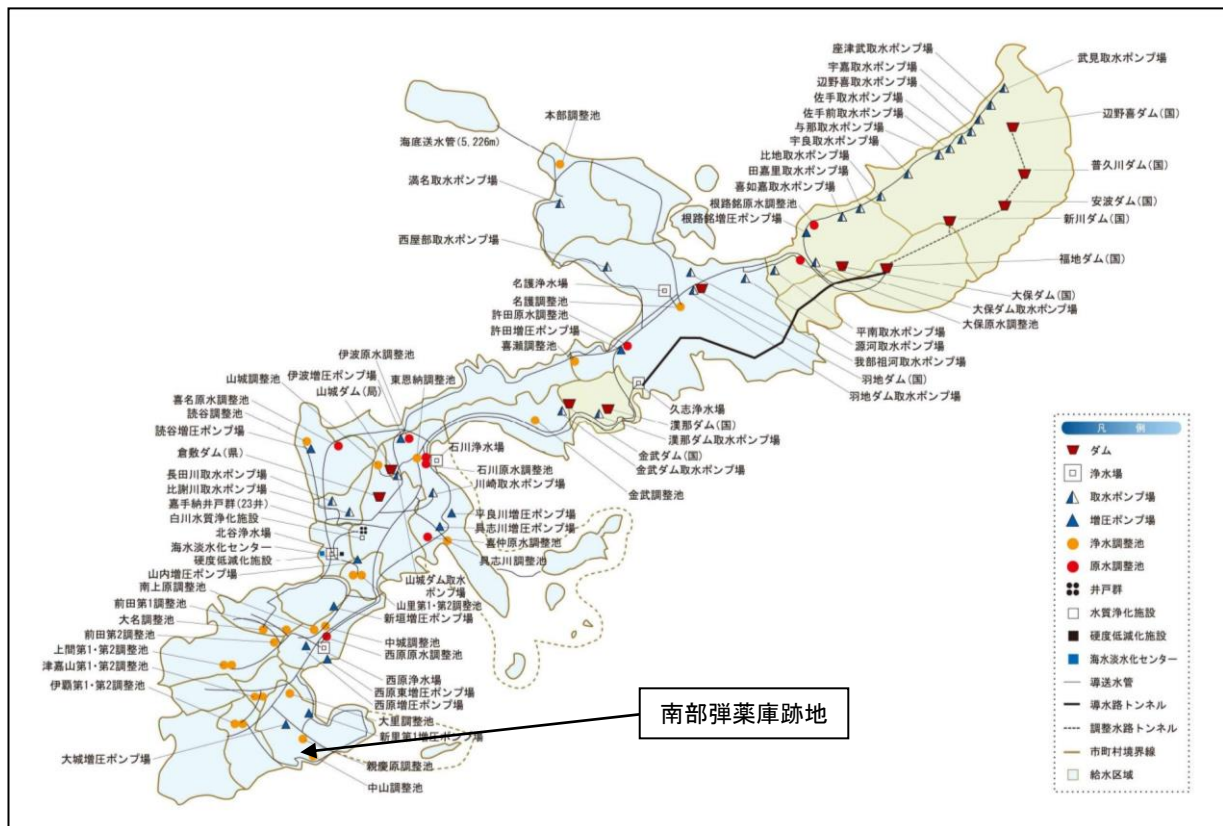
南部弾薬庫跡地のある糸満市及び八重瀬町で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は13種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

73.3.3 水利用状況

73.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 73-2 に示す。

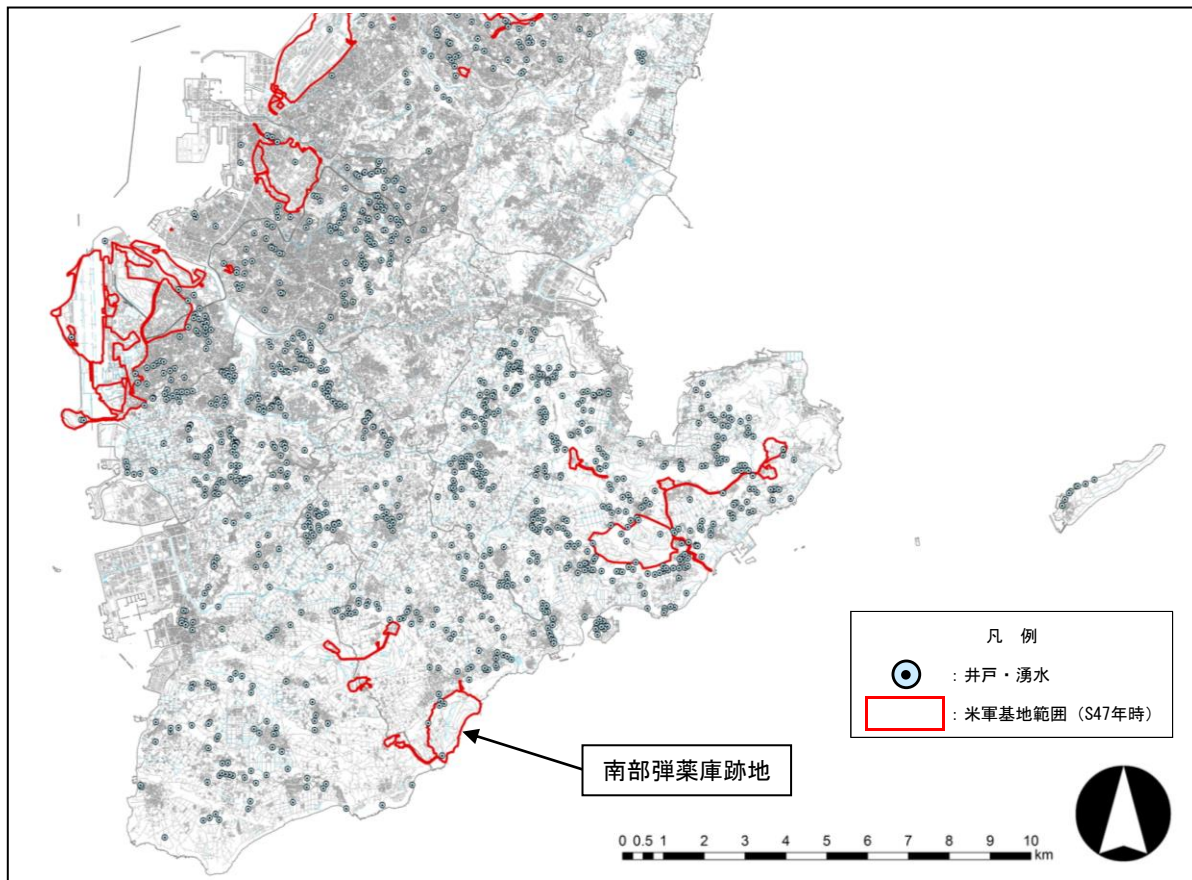


出典：「2015<平成 26 年度決算版> 環境報告書」（平成 28 年 3 月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 73-2 沖縄島及び周辺の水利用状況

73.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

南部弾薬庫跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 73-3 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、 第 269 号）」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 73-3 南部弾薬庫跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

73.4.2 事故等発生場所

南部弾薬庫及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

73.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

73.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、南部弾薬庫及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 73-1 に示す。

南部弾薬庫及び周辺については、以下の資料が確認された。

表 73-1 南部弾薬庫及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA 収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1958 年	—	図	旧米国陸軍地図局（U.S. Army Map Service : AMS）作製の地図。与座岳航空通信施設周辺、与座岳陸軍補助施設の簡単な見取り図と南部弾薬庫が記されている。

73.7 環境等に関する通常監視について

南部弾薬庫及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

